

1 ワークシート

現代社会ワークシート①

4ケタ 氏名: _____

《財政のはたらき》

(1) 一般会計に関する資料(資料1~9)から、気が付いたことや資料から読み取れることを五つ挙げてみよう。

<ul style="list-style-type: none">・・・・・	<p>【困っている生徒への対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 一般会計と補正予算の違いに着目させる。・ 令和2年度、令和3年度の違いに着目させる。・ 新型コロナウイルス対応にどのように予算が分配されているかについて着目させる。
---	--

(2) なぜ、税金を徴収するのか。税の役割とはなにか。

(3) 今後税収を増やすためには日本は直接税か間接税のどちらを重視して徴収することが望ましいと考えるか。根拠(理由)を含めて書いてみよう。

(4) 公債(国債)が発行できなくなったとすると、身の回りでどのような諸問題が生じるか、また、それらの解決策として政府はどのような対応を取ることができるか、具体例を挙げて書きなさい。

(生徒の解答例)

- ・ 歳入額よりも歳出額が膨らむことで財政赤字になり、国のサービスが低下する。その結果、政府はそのような事態を防ぐために公共財や公共サービスの供給を減少させる。また、歳入額を増加させるために国民から徴収する所得税や消費税の税率を上げる。税率が上がるがサービスが低下するため、日本から諸外国へ出ていく人が多くなる。
- ・ 国が国債を発行手出来なくなると政府の赤字が続くから、政府のサービスが低下するため、お金を持っている人とそうでない人の格差がさらに広がる。格差を埋めるためには、所得の再分配効果を狙い、累進課税の税率を上げると思う。

『社会保障』

【クイズ】 『社会保障教育のワークシート』 厚生労働省 より

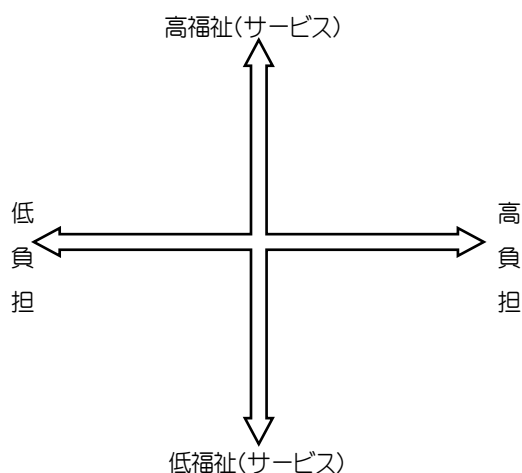
- ①部活中に骨折して、入院・手術……。あなたは窓口で保険証を出して3万円を支払いました。もし、保険証がなかったら、いくら支払うことになるでしょう？ (6万円 ・ 9万円 ・ 10万円 ・ 15万円)
- ②「年金」の保険料は 20 歳から払いはじめます。それでは、年金の受け取りについて、「20 歳から受け取る場合もある？」 (ホント ・ ウソ)

(0) (老齢)年金に対して自分自身はどのようなイメージ・考えをもっているか？

(1) 現実社会における様々なリスク(火災、死亡、病気、失業など)に対してあなたは個人としてどのような備えが有効だと思うか。

(2) なぜ政策としての社会保障が必要なのだろうか。自分の考えを根拠(理由)を含めて書いてみよう。

(3) あなたが望ましいと考える「社会保障制度」とは図のどの位置にあると思うか？また、実際の日本の「社会保障制度」はどの位置にあると思うか？右側にはそのように考える理由を書いてみよう。



【理由】

(4) 望ましい社会保障政策を実現しようとするとその負担を誰が担うべきだと思うか？根拠(理由)も含めて書いてみよう。

《国際比較をしてみよう》

(5) 資料集p.241の国民負担率の国際比較のグラフから読み取れる日本の特徴は何か。

(6) 資料集p.245の社会保障支出(対GNP比)と国民負担率のグラフから読み取れる日本の特徴は何か。

(7) 国民負担における保険料と税金の特徴をまとめてみよう。

	メリット	デメリット
保険料		
税		

夏目漱石の「三四郎」の中で、東京帝国大学に受かった三四郎が、熊本から上京する汽車の中で教師の広田先生に出会う場面があります。時は明治40年(1907年)頃。日露戦争の戦勝で、世の人はみな、これで日本も一等国へ仲間入りしたと自惚れムードに浸っています。そんな様子を斜に見て、先生はこう言い放ちます。

「滅びるね」

三四郎は日本人ではない者に出会った気がして、仰天します。

当時の日本は欧米列強に追いつけ追い越せで近代化への道をつっ走っていました。が、漱石はそのありようを疑問の目で眺めていました。広田先生は漱石の分身的な人物であり、つまり、彼は漱石の気持ちを代わりに語っているのです。

明治以降、近代化へ突っ走る日本の行き着く先を予見していた漱石の鋭い批評として、発せられた言葉。その予見が三六年後、日本の敗戦となつて的中しました。
(引用 URL: <https://www.bluesoyaji.com/entry/2017/03/25/124754>)

●広田先生の言う「滅びるね」は何を意味しているのか？

Blank box for student response.

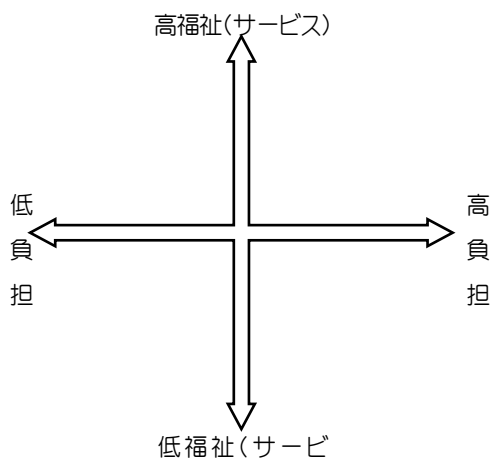
『2040年問題』 …自分の年齢()歳

…「団塊ジュニア世代」が高齢化することで起きる問題 2040年になると、1971年～1974年の第二次ベビーブームに生まれた「団塊ジュニア世代」が65歳～70歳となります。少子高齢化が進展し、65歳以上の高齢者の人口がピークになることで起こりうる問題を総称して「2040年問題」といわれている。

【2025年問題】

1947～49年の「第1次ベビーブーム」で生まれた「団塊の世代」が、75歳以上となる2025年頃の日本で起こる様々な問題のこと。

○少子高齢化や国民負担率などを踏まえて「2040年」の社会を考えたとき、どのような社会保障政策が望ましいだろうか？(今あるサービスの拡充や新しい保険制度の新設なども提案してみよう。)



【2040年の社会保障】

Blank box for student response.

複数の視点を意識してみよう！！

【各分野について】…何費の増大が見込まれるだろうか？

老齢年金	
医療保険	
介護保険	
雇用保険	
労災保険	
財政(税制度)	
公的扶助	
社会福祉	
公衆衛生	
新しい社会保障政策の提案	

問:2040 年問題やその後に備えて、日本は今後、どのような社会保障政策を行っていくことが望ましいと考えるか。自分の考えを根拠(理由)も含めてまとめてみよう。

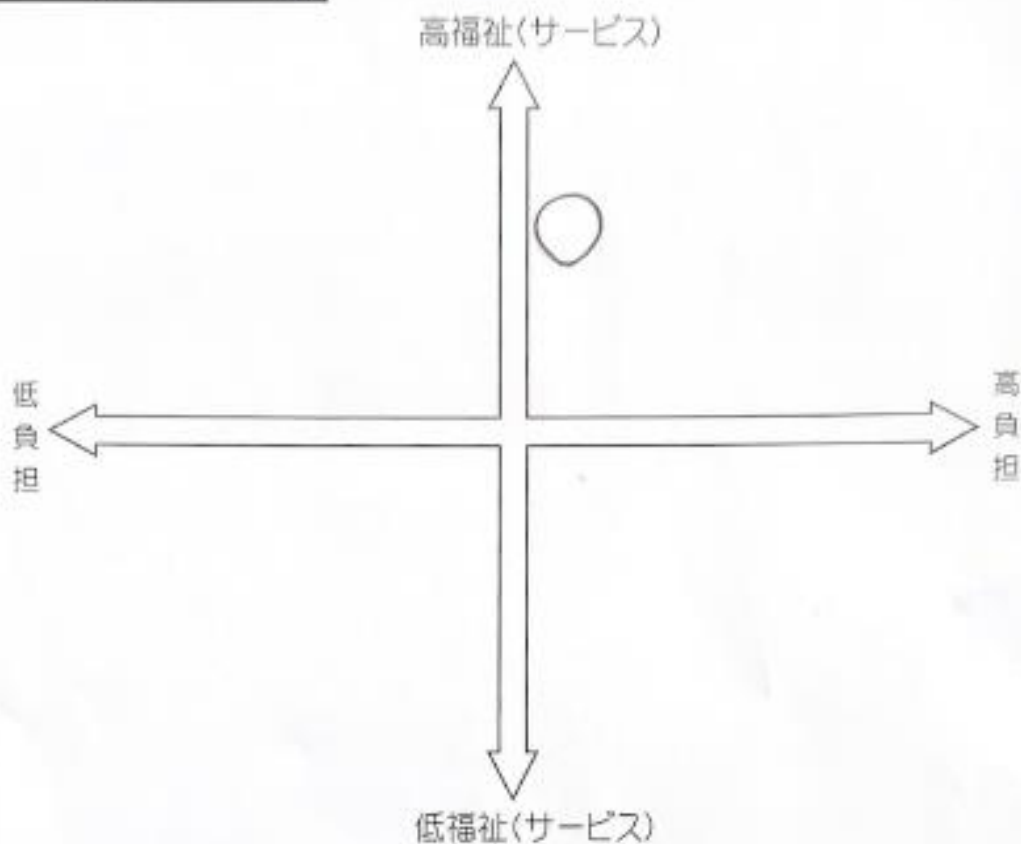
(生徒の解答例)

2040 年問題が起こり、少子高齢化が起こると現役世代が減少するので、今の社会保障のサービスを維持しようとする現役世代一人当たりの負担が重くなってしまいますので、高齢者を含めて全員で負担していく仕組みに変える必要があると思う。まず、景気の影響少ない消費税を上げることで高齢者にも公平に負担してもらい、定年を無くして高齢者にも働いてもらうことで高齢者から所得税を得ることができる。現役世代の負担の増加は保険料や税の未納の問題にもつながるので、現役世代を支える労働環境や子育てしやすい環境の整備に力を入れて人口減少幅を抑えていく必要があると思う。

○今回の学習を通して、自分の意見が深まったことや意外だったこと、疑問に思ったこと、もっと調べてみたいと思ったことなどがあれば書いてみよう。

[]

8 班



政策のポイント・各分野について

- 老齢 定年なし！！
- 医療 医者も国家公務員にする。
- 介護 ロボットの導入 賃金を税金にする
- 失業 現状維持
- 労働 環境の充実
- 財政 消費税増税 12% くらい
- 公的扶助 生活保護制度をもっと知ってもらおう。
- 社会福祉 現状維持
- 公衆衛生 ポイスター刑罰の厳重化、ワケチンを国内でつくる
- 新しい社会保障 自然災害の被害の補償

2 資料

【ワークシート1】

- (資料1) 一般会計歳出の主要経費の推移 (『我が国の財政事情』より 財務省主計局 令和2年)
- (資料2) 令和2年度一般会計歳出・歳入の構成 (財務省 HP より)
- (資料3) 令和2年度一般会計補正後予算 歳出歳入の構成 (財務省 HP より)
- (資料4) 令和2年度補正予算 (第1号) の概要 (財務省 HP より)
- (資料5) 令和2年度一般会計第2次補正後予算 歳出歳入の構成 (財務省 HP より)
- (資料6) 令和2年度補正予算 (第2号) の概要 (財務省 HP より)
- (資料7) 令和2年度補正予算 (第3号) の概要 (財務省 HP より)
- (資料8) 令和3年度一般会計歳出・歳入の構成 (財務省 HP より)
- (資料9) 一般会計税収の推移 (財務省 HP より)
- (資料10) 所得税の速算表 (国税庁 HP より)
- (資料11) 直間比率 (国税+地方税) の国際比較 (財務省 HP より)
- (資料12) 普通国債残高の累増 (財務省 HP より)
- (資料13) 一般会計税収、歳出術総額及び公債発行額の推移 (財務省 HP より)

【ワークシート2】

- (資料1) 社会保障給費費の推移 (厚生労働省 HP より)
- (資料2) 社会保障給付費の推移 (国税庁 HP より)
- (資料3) 国民年金保険料の推移 (日本年金機構 HP より)
- (資料4) 年金制度の国際比較 (令和3年版厚生労働白書 資料編より)
- (資料5) 年金額の推移 (令和3年版厚生労働白書 資料編より)
- (資料6) 保険料の推移 (令和3年版厚生労働白書 資料編より)
- (資料7) 国民年金保険料の納付率の推移 (令和3年版厚生労働白書 資料編より)
- (資料8) 政策分野別社会支出の国際比較 (令和2年版厚生労働白書より)
- (資料9) 国民負担率の国際比較 (財務省 HP より)
- (資料10) 国民負担率の国際比較 (OECD加盟35ヵ国) (財務省 HP より)

【ワークシート3】

- (資料1) 出生数、合計特殊出生率の推移 (令和2年版厚生労働白書より)
- (資料2) 人口統計の推移 1965~2065年
- (資料3) 社会保障給費費の見直し (内閣府 HP より)
- (資料4) 社会保障負担の見直し (『これからの日本のために財政を考える』財務省 HP より)
- (資料5) 平均寿命の推移 ((令和2年版厚生労働白書より)
- (資料6) 女性の年齢階級別労働力率の推移 (令和3年版男女共同参画白書)
- (資料7) 就業率の推移 (令和2年版厚生労働白書より)
- (資料8) 高齢化率と社会保障の給付規模の国際比較 ((令和2年版厚生労働白書より)
- (資料9) 平成の30年間と、2040年にかけての社会の変容 (主なもの) (令和2年版厚生労働白書より)
- (資料10) 我が国における総人口の長期的推移 (総務省 HP より)

3 参考文献

- ・三四郎要約参考URL (<https://www.bluesoyaji.com/entry/2017/03/25/124754>)
- ・『社会保障教育のワークシート』(厚生労働省)